

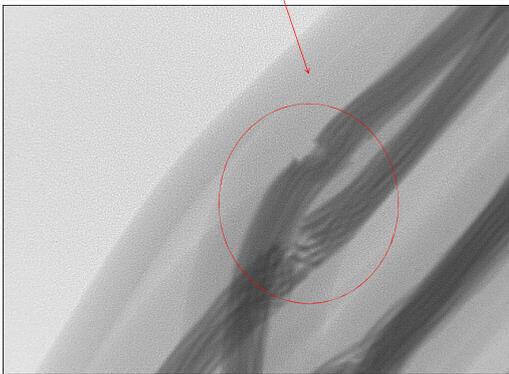
# 古い扇風機の手振り部分から出火

## 事故の概要

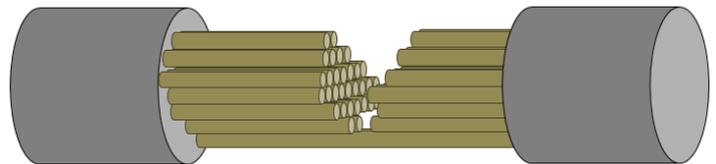
約19年使用されていた扇風機から出火し、扇風機及び周辺を焼損する火災が発生した。

## 事故の原因

約19年の長期使用により、扇風機の手振り部分の内部配線が手振り時の繰り返しの屈曲を受けたことにより断線し、当該部分からスパークが発生し、出火に至ったものと考えられる。



手振り部分の内部配線が半断線(部分的に芯線が切れた状態)となっています。



半断線のイメージ。芯線の一部が繋がっている状態。



【NITEの再現実験】断線部から発火して、周囲の可燃物に着火する様子。



## 事故防止のために

- スイッチを入れても、ファンが回らない。
- ファンが回っても、回転が異常に遅かったり不規則である。
- ファンが回転するときに異常な音や振動がする。

古い扇風機で一つでも該当する場合、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて適切に廃棄してください。

